

社協名	社会福祉法人 天草市社会福祉協議会
-----	-------------------

住 所	熊本県天草市五和町御領 2943 番地
電 話	0969-32-2552
ファックス	0969-32-2551
メール	chi-ki@amasha.jp
担当部署及び担当者	福祉のまちづくり課 地域福祉係

テーマ番号	事業・取組み名
1	天草市子ども民生委員の委嘱

取組みのきっかけ

少子高齢化が進む天草市においては、小学校の統廃合も進み、更に子どもたちが地域との関りや高齢者とふれあう機会が減少している現状があります。

そこで、市内の小学生を「子ども民生委員」として委嘱することにより、地域社会の一員としての自覚と思いやりの心を育て、地域のお年寄りに対するあいさつ運動や訪問活動等を通して、自ら進んで行動できる児童を育てるとともに、いつまでも自分の地域を大切に思ってもらうことを目的に、「民生委員児童委員の日」である5月12日に合わせて、天草市子ども民生委員の委嘱状交付式を実施しました。

委嘱状のほか、熊本県キャラクターくまモン・くまもとサプライズロゴ利用許諾申請による許諾を受け、本会が独自に作成したくまモンデザインの「子ども民生委員バッジ」も併せて交付しています。

* 取組み開始日（平成27年度から実施）

具体的な取組み内容と実施体制

《委嘱状交付式》

* 委嘱状の交付にあたっては、天草市教育委員会の後援をいただき、委嘱状交付式には、校区内の行政区長や民生委員・児童委員、地域の団体関係者はもとより、教育長、教育委員及び教育部長にも参列いただいて交付式を行っています。

《委嘱後の子ども民生委員としての活動》

* 学校の総合学習の時間や放課後等を利用して、行政区長や民生委員・児童委員の皆さんなど、地域の方々とともに、一人暮らしや高齢者のみの世帯を把握するための福祉

マップの作成や地元のふれあいいきいきサロンを訪問し、子供たちが考えた出し物を披露するなど、高齢者との交流活動に取り組んでいます。

- * お年寄りの方々に、年賀状や暑中見舞いの送付と、児童が育てた花の苗などを配布する訪問活動を行っています。
- * 委嘱状交付式の後に、認知症について正しく理解してもらうために、「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症の疑いがある方への声のかけ方や接し方の勉強も併せて実施しています。(受講終了後、オレンジリングを配布)
- * ふれあいいきいきサロン交流大会など、社会福祉協議会の事業に、子ども民生委員として参加・協力しています。
- * 平成27年度には、天草地域の活性化に貢献する活動として、子ども民生委員の活動が認められ、熊本県が実施した「天草ブランドアワード2015」において、金賞を受賞した5団体の中から、見事にグランプリを受賞しました。

<子ども民生委員の主な活動(例)>

- ・ 地域のお年よりや住民の方々に、元気な声であいさつ運動。
- ・ 地域の民生委員・児童委員などと協力し、高齢者宅への友愛訪問や福祉施設や保育所(園)等への同行訪問により、お年寄りや幼児との交流を深める活動。
- ・ ふれあいいきいきサロンへ訪問し、利用者との交流を深める活動。
- ・ 地域における見守り活動への協力。
- ・ お年寄りの方に、年賀状や暑中見舞いを送付したり、児童が育てた鉢植えの配布による訪問活動。
- ・ 認知症について正しく理解するため、認知症サポーター養成講座を受講。

* 平成30年度予算額 (193) 千円

事業実施の効果

<委嘱状況>

* 合併当初の平成18年度には40校あった小学校も、統廃合により、平成27年度には22校、平成30年度には17校になりました。

・平成27年度	新規	1校	61名		
・平成28年度	新規	3校	211名		
	継続	1校	16名		
		計	227名	累計	288名
・平成29年度	新規	6校	547名		
	継続	4校	59名		
		計	606名	累計	894名

・平成30年度	新規	5校	664名		
	再委嘱	1校	254名		
				(平成27年度の1校を含め3校が統合)	
	継続	9校	200名		
		計	1,118名	累計	2,012名

* 残り2校と統合した1校は、来年度までに委嘱することとしており、平成31年度には、市内全ての小学校において子ども民生委員が誕生する予定です。

<委嘱の効果>

- * 子どもたちが登下校する際、地元の方々に自発的にあいさつする光景が見られるようになりました。
- 併せて地域の皆さんも子どもたちを気に掛けるようになりました。
- * 上級生が下級生をお世話する場面が増えました。
- * 子どもたちが自発的に活動をしようとするようになりました。
- (担任の先生に高齢者との交流をしたいと申し出るなど)
- * 民生委員・児童委員と子どもたちの関わりが強くなりました。
- (福祉マップ作りや同行訪問をとおして)
- * 民生委員・児童委員活動の重要性や大変さを、地域の住民が理解するようになりました。(児童の保護者を通じて)
- * 社会を明るくする運動推進大会や本会が開催するあまくさ福祉まつり及び第10回火の国ボランティアフェスティバルにおいて、子ども民生委員の活動を立派に発表してもらいました。
- * 子ども民生委員の活動について、県内はもとより九州管内及び全国からの問い合わせが殺到しています。

今後に向けて(課題など)

- * 来年度、市内全小学校の児童に子ども民生委員の委嘱を行うと、累計2,500名を超える子ども民生委員が誕生し、その後も継続して、毎年対象になる児童に委嘱状を交付していきます。
- * 地域住民と子ども民生委員の交流が深まれば、地域が活性化するとともに、民生委員・児童委員への理解と認知症にやさしいまちづくりができるのではないかと考えています。
- * 本会では、独自にボランティア活動普及推進校((ボランティア協力校) 幼、小・中学校、高等学校)の指定を行い、活動助成をしていますが、子ども民生委員の活動経費にも活用していただくようお願いしています。

天草市子ども民生委員

あまくさしこ みんせい いんしんじょう
天草市子ども民生委員信条

1つ わたしたちは、^{ちいき}地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちに、^{えがお}笑顔で、^{あか}明るく、^{こころ}心をこめて^{げんき}元気よくあいさつをします。

1つ わたしたちは、^{ちいき}地域の^{みんせい}民生委員・^{しどういん}児童委員の^{みな}皆さんと^{きょうりやく}協力して、おじいちゃん、おばあちゃんと、^{すす}進んで^{こうりゆう}交流をします。

1つ わたしたちは、おじいちゃん、おばあちゃんや^{とも}子ども^{あいじょう}友だちに^{せつ}愛情をもって接します。

1つ わたしたちは、^{かんしゃ}ありがとうの^{きも}感謝の気持ち^{わす}を忘れず、^{ちいき}地域を^{たいせつ}大切にします。



くまモンデザインの缶バッジ
 天草市子ども民生委員の証!!



- 民生委員・児童委員について -

○5月12日は、民生委員・児童委員の日です

全国民生委員児童委員連合会では、5月12日を「民生委員・児童委員の日」とし、5月12日から18日までの1週間、民生委員・児童委員の活動を地域のみなさまに知っていただくための「活動強化週間」として、さまざまな取り組みを進めていくこととしています。

○民生委員・児童委員とは

民生委員は、民生委員法により住民の中から選ばれ、厚生労働大臣が委嘱（民生委員として活動することを依頼）します。また、児童委員は、児童委員法によって民生委員がかねており、児童福祉問題を専門に担当する主任児童委員もいます。

○民生委員・児童委員の役割と活動

民生委員・児童委員は、常に住民の立場にたって、安心して暮らしやすい地域社会をつくるために活動しています。それぞれの民生委員・児童委員が担当する地域の中で、生活上の心配ごとの相談や、福祉サービスを利用するためのお手伝いなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、近年では、児童虐待の防止や不登校・引きこもりといった課題にも積極的に対応しています。

天草市子ども民生委員の委嘱と活動支援

市内の小学生を「天草市子ども民生委員」として委嘱することにより、地域社会の一員としての自覚と思いやりの心を育て、地域のお年よりに対するあいさつ運動や訪問活動を自ら進んでできる児童を育てることを目的に、地域の民生委員・児童委員や天草市教育委員会等の関係機関と連携を図り、この事業を推進しているものです。

子ども民生委員委嘱状交付の流れ



天草市社会福祉協議会 中村五木会長から委嘱状の交付



天草市子ども民生委員信条の朗読



認知症サポーター養成講座の開催



子ども民生委員の活動(例)

- 地域のお年寄りや住民の方々に、元気な声であいさつ運動
- 地域の民生委員・児童委員などと協力し、高齢者宅への友愛訪問や福祉施設や保育所(園)等への同行訪問により、お年寄りや幼児との交流を深める活動
- 地域における見守り活動への協力
- お年寄りの方々に、年賀状や暑中見舞いの送付や児童が育てた鉢植えの配布による訪問活動
- 認知症について正しく理解するため、認知症サポーター養成講座を受講



メッセージカード配布



花苗配布



マップ作り

